

医学研究センター

研究主任部門

海老原 康博
(部門長)

1. 構成員

部門長 海老原康博 (EBIHARA Yasuhiro) : 国際医療センター中央検査部: 教授 (任期: R7.3.31)
副部門長 下岡聡行 (SHIMOOKA Toshiyuki): 保健医療学部医用生体工学科: 教授 (任期: R7.3.31)
横田和浩 (YOKOTA Kazuhiro) : 大学病院リウマチ膠原病科: 准教授 (任期: R7.3.31)
百瀬修二 (MOMOSE Shuji) : 総合医療センター病理部: 教授 (任期: R7.3.31)
部門員 町田早苗 (MACHIDA Sanae) : 医学研究センター: 講師
医学部の全基本学科及び保健医療学部の各学科研究主任

2. 目的・目標

本部門は、埼玉医科大学医学研究センター規程第3条により構成され、第9条に則り、研究現場とセンターの密な連絡を保つための活動を行うことを業務としている。研究主任に対して、基本学科の研究の責任者であると同時に研究費を適正に管理・運用する責任者であることも自覚していただき、適正な運用を推進するよう働きかける。研究者向けの情報を発信し、研究主任から各所属部署内での周知徹底を依頼する。学内での共同研究が推進できるよう体制整備に努め、支援活動を行う。学内グラント成果発表会を2回/年開催し、学内の研究推進を図る。

3. 活動実績

(1) 学内グラント受賞者成果発表会の企画・開催

ア 第28回学内グラント受賞者成果発表会

2024年7月26日(金) 17:00~18:10

カタロスタワー1F クロードベルナルホール (毛呂山キャンパス)

*ZOOMとのハイブリッド開催・ビデオ収録配信

プログラム内容

1. 開会挨拶 森 茂久 医学部長・副学長

2. 成果発表

演題1: 座長: 茅野 秀一 (保健医療学部 臨床検査学科)

小野 公嗣 (保健医療学部 臨床検査学科)

「脾臓全体の血管網可視化を目指した血管内皮細胞イメージング法の確立」

(2023年度科研費申請支援)

演題2: 座長: 前田 卓哉 (医学部 埼玉医科大学病院 臨床検査医学)

関 雅文 (医学部 国際医療センター 感染症内科・感染制御科)

「With コロナ時代のSARS-CoV-2以外のウイルス診断と診療・制御の重要性」

(2023年度科研費申請支援)

演題3: 座長: 横田 和浩 (医学部 埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科)

野木 武洋 (医学部 埼玉医科大学病院 麻酔科)

「全身麻酔がインフルエンザワクチン接種による免疫の獲得に対して及ぼす影響の検討」

(2023年度科研費申請支援・2024年度科研費採択奨励費)

演題4: 座長: 植松 和嗣 (医学部 総合医療センター 呼吸器内科)

難波 文彦 (医学部 総合医療センター 小児科)

「新生仔肺特異的KOマウスを用いた肺発達・肺傷害修復におけるHAPLN1の役割」

(2022年度科研費申請支援・2023年度科研費採択奨励費)

3. 閉会の辞 小谷典弘 医学研究センター副センター長

参加人数: 合計114名

会場参加者 29名 Zoom参加者 85名

イ 第29回学内グラント受賞者成果発表会

2025年3月28日(金) 17:00~18:10

カタロスタワー1F クロードベルナルホール(毛呂山キャンパス)

*ZOOMとのハイブリッド開催・ビデオ収録配信

プログラム内容

1. 開会挨拶 竹内 勤 学長

2. 成果発表

演題1: 座長: 鈴木 啓介(医学部 埼玉医科大学病院 小児外科)

中村 彰宏(医学部 基礎医学部門 微生物学)

「腸管オルガノイドを用いた嫌気性細菌 *F. nucleatum* と組織恒常性維持に関する研究」

(2023年度 科研費申請支援)

演題2: 座長: 伊丹 千晶(医学部 基礎医学部門 生理学)

松本 英子(医学部 基礎医学部門 解剖学)

「発生過程の大脳皮質ニューロン軸索側枝形成における Netrin-1 と BDNF の作用」

(2023年度 科研費申請支援)

演題3: 座長: 吉田 裕之(医学部 国際医療センター 婦人科腫瘍科)

平沢 統(医学部 基礎医学部門 生理学)

「卵巣がん細胞の機能変化に関する電気生理学研究」

(2023年度 科研費申請支援)

演題4: 座長: 美山 優(医学部 国際医療センター 病理診断科)

天野 博明(医学部 埼玉医科大学病院 腎臓内科)

「尿細管上皮細胞における CCN2-integrin-FAK 経路に着目した新規腎臓病治療薬の検証」

(2023年度 科研費申請支援)

3. 閉会の辞 片桐 岳信 医学研究センター センター長

参加人数: 合計 89名

会場参加者 29名 Zoom参加者 60名

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

昨年度から、学内グラント受賞者成果発表会の発表者は学内グラント受賞により得た資金を使って、翌年以降に科研費を獲得できた発表者に限って発表を行なっている。内容・形式を改善し、科研費を獲得するために工夫した点も含めた発表にすることで、より多くの参加が得られ、活発な討論を展開できるように対策している。また、新型コロナウイルス感染拡大の対応によって新たに用意されたZOOM配信を導入し、学内グラント成果発表会に参加しやすい環境を取り入れた。参加人数には波があるものの、参加者の負担を減らして多くの教職員の参加を促すことに寄与していると考えられる。また、毎月行われている医学研究センター運営会議議事録(抜粋)を各研究主任に送付して情報提供を行なっている。

4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

今後は、全学規模で行われている「オール埼玉医大研究の日」とも連携して、多くの学内グラント受賞者に発表の機会を持っていただくよう、また、成果発表会により多くの参加が得られるようにさらなる改善を行っていく。

医学研究センター運営会議議事録(抜粋)に限らず、研究主任を通して3キャンパス内で行われている研究の内容を学内研究者に情報提供し、共同研究・研究連携を推進する。